

<p>事案名</p>	<p>佐世保市の事案（長崎県42-1）</p>
<p>分類</p>	<p>生産・保有</p>
<p>資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本海軍ニ於ケル化兵戦関係概況」〔1〕 ・『相模海軍工廠』1984年〔2〕 ・「毒瓦斯及其ノ充墳兵器処理ニ関スル件」1945年9月〔3〕 ・Intelligence Report on Japanese Chemical Warfare, Volume〔4〕 ・Reports on Scientific Intelligence Survey in Japan. September & October 1945. Vol. IV Chemical Warfare I-NOV-45〔5〕 ・「佐世保海軍軍需部引渡目録」1/2〔6〕
<p>資料内容概要</p>	<p>長崎県佐世保市の第21海軍航空廠および佐世保海軍軍需部には、終戦時に毒ガス弾が保有されていた。</p> <p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和20年9月9日現在の佐世保における保有量は、60kgイペリット爆弾約5,000発であったと記載されている〔1〕〔2〕。 ・昭和20年9月9日現在、佐世保にはイペリット爆弾約5,000発が残存していたと記載されている〔3〕。 ・第21海軍航空廠（佐世保）に60kgイペリット爆弾5,000発が残存していたと記載されている（日付は不明）〔4〕〔5〕。 ・昭和20年9月14日現在、佐世保海軍軍需部には催涙筒200個と手投涙弾28,828個が存在していたと記載されている〔6〕。